

カーボベルデで大統領の就任式があり出席しました。カーボベルデはポルトガル式の大統領制です。近隣のセネガルやギニアビサウ大統領、ポルトガル大統領他の列席を得て実施されました。式の会場でネーヴェス大統領と短時間言葉を交わして、日本カーボベルデ関係のさらなる発展を確認しました。

カーボベルデは中所得国に分類され、アフリカで発展度合いが高いグループに入ります。大西洋の真ん中に位置する島嶼国であり、漁業と観光が主要な経済活動です。街は清潔でゴミを見かけません。どこからも海に近く、開放感もあります。アフリカに加え、ポルトガルやブラジルの影響もあり、音楽など文化活動も盛んです。

他方で、産業の育成が難しく、気候や土地の条件で農業が振興しにくい環境にあります。我が国は、インフラ（水、電気など）、漁業、食糧、医療、災害保全、人材育成など、幅広い分野で協力を実施しています。草の根・人間の安全保障無償資金協力による、救急車の供与、医療教育のための機材供与なども行っています。なお、日本の名誉総領事を置く計画も進行中です。

今回は、コレイア・エ・シルヴァ首相、ソアレシュ外務・協力・地域統合大臣との面談も行いました。日本の支援に対する感謝の念は強く、今後への期待も高いです。経済分野、特に企業活動の強化に大きな関心があります。昨年、日本から官民合同ミッションがダカールを訪問した際、カーボベルデは代表団を派遣してダカールにて意見／情報交換を行いました。日本ではカーボベルデの知名度はまだ高くないことを意識して、経済セミナー開催などを通じて日本企業との関係強化を希望しています。

東京オリンピックにはカーボベルデから競泳、ボクシング、陸上（ハードル）、柔道、新体操に計6名の選手が参加しました。柔道ではカーボベルデで初めて2回戦進出を果たすなど、選手、チームの健闘により好成績を収めました。

10の島からなり、海岸が美しいリゾートの島、火山島、トレッキングに適した島、昔から日本の漁船が立ち寄った漁港のある島など、多彩な顔を持っています。いつか観光に出かけるのも一興かと考えます。

（写真：大統領就任式、首相、外務大臣）

